

分 担 研 究 概 要

北九州市立総合療育センター

高 松 鶴 吉

早期療育の手がかりをうるために、前回にひきつづき、遡及調査(坂本、久田)を継続した。完成された障害像に対比して、早期にどのようなおくれ、ひずみがあるかを知るためである。行動異常をとまなうものと、ともなわぬものとの間に、粗大運動発達の違いがみられたほか、一、二の点が解明された。しかし初期の認知の発達に重要な役割を果たすと考える視覚-巧緻運動系の発達に関して、有意な情報はえられなかった。久田の調査母集団については、児童相談所、総合療育センターにカルテが保管されているものが多く、単なる親への質問という調査の限界をこえらる。と考えられるので、次年度も更に調査をすすめたい。なお坂本の報告では自閉症群において前庭系の hypoactive が証明された。これは、今後の治療の一つの手がかりになると考えられ、坂本の研究は次年度には、本来の目的である訓練の方法へとすすむ予定である。

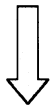
次に情緒の問題がある。これは感覚運動系の発達と無縁ではないが、それだけで説明できるものではない。感覚運動系を構造系とすれば、情緒は調整系ともいえる(阿部)もので、この発達の経路もまた早期療育の重要な一環である。この点について今回からチームに阿部の参加をえて追求することになった。

安藤の発達表の検討はひきつづき実施された。目標とするのは、その標準化であるが、そのほか、多くの発達項目の中でも、とくに重要なキイとなるいくつかの項目をえらぶという作業がある。これができれば、それらのキイ項目表は、スクリーニングに有用となると思われる。

感覚運動を重視した発達指導法について安藤がのべている。発達につよいひずみがある場合は特殊な訓練法が求められるが、全体的に発達遅滞を示すものに対する、一種の育児訓練的なものを構成したいと考えている。発達遅滞児の初期は、感覚運動系の遅滞と考えられ、従って人為的に調整した感覚運動学習環境をあたえることが、結局は根幹をなすと考えられるからである。今回の発達指導法はボバース的赤ちゃん体操ともいうべきものであるが、私達はこれを発展させていきたいと考えている。

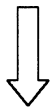
また今回から技術的方法のみならず、システム的方法についての研究も加えた。木佐は冬季降雪の多い人口の分散している地方について、高松は、地方の人口100万余の人口集約都市について、それぞれ分析を加えた。高松はかなり完成度の高いモデルを呈示したが、このようなシステムは、都市部において今後求められるべき一つの方向となりうると考える。また木佐の呈示したプランは、一地方病院に存在する小さな核が、今後どのように発展していくのか、地方の行政がどのように対応していくのか、経時的にも興味がある。勿論人口分散地域のモデルとしても、類似の地方に一つの示唆をあたえるものとなる。

以上、今回の研究の概要についてのべた。次年度は言語に関する療育の方法、認知に関する療育の方法についてものべていきたい。また可能であれば、農村地帯をももつ標準的県レベルでのシステムについても検討を加えたいと思う。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



早期療育の手がかりをうるために、前回にひきつづき、遡及調査(坂本, 久田)を継続した。完成された障害像に対比して、早期にどのようなおくれ, ひずみがあるかを知るためである。行動異常をともなうものと, とまなわぬものとの間に, 粗大運動発達の相異がみられたほか, 一, 二の点が解明された。しかし初期の認知の発達に重要な役割を果すと考える視覚-巧緻運動系の発達に関して, 有意な情報はえられなかった。久田の調査母集団については, 児童相談所, 総合療育センターにカルテが保管されているものが多く, 単なる親への質問という調査の限界をこえると考えられるので, 次年度も更に調査をすすめたい。なお坂本の報告では自閉症群において前庭系の hypoactive が証明された。これは, 今後の治療の一つの手がかりになると考えられ, 坂本の研究は次年度には, 本来の目的である訓練の方法へとすすむ予定である。

次に情緒の問題がある。これは感覚運動系の発達と無縁ではないが, それだけで説明できるものではない。感覚運動系を構造系とすれば, 情緒は調整系ともいえる(阿部)もので, この発達の経路もまた早期療育の重要な一環である。この点について今回からチームに阿部の参加をえて追求することになった。